

## R2.1.18 介護保険制度の今後と動向とケアマネに求められる役割 ～医療介護連携からターミナルケアまで～（福井県介護支援専門員協会さかい支部主催研修）

講師 北海道介護福祉道場 あかい花 代表 菊地 雅洋氏

### ● アンケート集計結果（61名出席 46枚回収）

居宅介護支援事業所 35名 地域包括支援センター6名 その他 5名

非常に満足 36名 満足 10名 やや不満 0名 不満 0名

### 1. 今回の研修内容について（感想：自由記述）

- ・具体的で分かり易かった。
- ・分かり易い言葉で、豊富な内容だったので良かったと思います。
- ・話が面白く、マナーに対しての話がためになった。
- ・今後の制度の動向が理解できた。
- ・とても聞き取りやすく話題が豊富で楽しく傾聴させてもらえました。
- ・一日の講習でしたが、中身の濃い講習でした。
- ・自立支援の考え方やサービスマナーにいつまで実話体験談に基づいての話が、とても分かりやすいためになりました。
- ・内容の濃い事例を交えての話で分かり易かった。
- ・根拠(制度)を示し、実践から得られた話をされていた。
- ・介護保険制度の改正のことも分かりやすく説明してくれて良かった。
- ・集中して講義を受けられた。
- ・ケアマネの事をとてもよく分かってくれていてうれしかった。
- ・硬い言葉ではなく気持ちのこもった話し方だったので共感しやすく理解もし易かった
- ・ケアマネ目線での話であり、納得できることが多かった。
- ・制度の動向を理解する事が出来た。自立支援、連携の大切さを学ぶ事が出来た。
- ・介護保険の今後の動向について知る事が出来た。
- ・ケアマネを勇気づける内容で自分も力をいただいた。
- ・多くの情報を具体的に説明していただき。理解し易かった。
- ・ケアマネとして今後求められる役割について理解できた。
- ・言いたいことを言ういさぎよい表現で面白かったから。
- ・判り易く、今後の参考になります。
- ・原点に戻る事が出来た。ケアマネになった頃の気持ちを思い出した。

### 2.研修の中で、特に印象に残ったところ、参考になったところ、明日からの実践に繋がると感じたところをお聞かせください。（自由記述）

- ・改めて人生会議の大事さを感じました。自律支援に向けて頑張っていきたいと思う。どのような死を望むか。一緒に考えていくことも大事であると考えさせられた。
- ・建前で締め付けられている業務について納得いかない事も多々あるが、先生は本音でズバと言うので小気味良かった。
- ・制度の動向から、実践的な内容まで理解し易かったです。最後に温かいメッセージのこもった映像を観て、明日から頑張ろうという思いになりました。
- ・自立支援の在り方について、地域包括ケアシステムの重要性について学べた
- ・免許返納後のサービスについて、交通手段がない地域で実践できると良いと思う。
- ・自立支援の考え方、ACPに取り組む情報提供できる力が必要なこと。看取りの医療について、住まいを自宅に限定しすぎない事。保険内、保険外サービスの混合利用についてサービスマナーが大前提。達人でなくてよいので、感じの良いケアマネに。
- ・意思が伝えられる時、最後はどう過ごしたいかを時間のある時間聞いていく必要があると気付く。
- ・介護支援専門員の必要性和重要なポジションであることを再確認でき、今後の仕事に繋げて行きます。
- ・施設ケアマネにも聞いて貰いたかった。サービス事業所の管理者にも聞いて貰いたかった。年代に沿って年表作成は実践したいと思いました。
- ・ターミナルケアでの看取りについて、自分の死期が近づいた時に、どこで過ごしたいかを元気なころに聞いておき、看取りの時期になり、本人の思いがかなえられるように支援していく。
- ・サービスマナー。感じのいいケアマネを目指したい。
- ・介護ロボットはひねり動作は出来ない。AIに負けずに業務に取り組んでいきたい。
- ・本人の意思決定は、自分らしい生活支援をモットーにプラン作成に取り組んでいきます
- ・訪問時にその方の住んでいる地域や支援者にも目を向けていかないといけない。地域で支えていくということは、分かっているつもりだった。個人情報保護との兼ね合いや地域の人には知られたくないという家族の思い等様々な背景を理由に、自分自身怠っているところも多かったと思う。ケアマネの専門性としての知識がまだまだ足りていない。サービスマナーについて研修を会議で行っていく。
- ・立派なケアマネではなく、感じの良いケアマネにと、ケアマネとしてだけではなく人としても心に染みる内容がたくさんあった。
- ・自己決定を支援すること、自立支援について改めて学ぶ事が出来て良かった。決定過程を大切に支援していきたい。(環境を整える、対人援助がない)。地域ケア会議をセレモニー化しないという言葉が印象に残った。
- ・ケアマネの必要性を聞いて、これからも頑張れそうです。
- ・ケアマネの誕生によって、日本の福祉の底辺が引き上げられた。ケアマネの仕事に誇りをもって取り組んでいこうと思いました。

・経管栄養や終末期について、選ぶのはご本人、ご家族なので自分の意思を押し付けない様、気を付けたいと思った。

・2021年の法改正の展望や医療保険との関連性を教えて貰いとても勉強になりました。リビングウィルや介護の業界で働くためのマナーやサービスなど多岐に渡り、お話しされ、改めて認識することが多かったです。施設で働くケアマネや職員にも是非聞いて貰いたいと思いました。

・リビングウィルを聞く大切さ。時代の変化を理解、利用者の人生背景を確り意識する。

・利用者の服薬情報副作用の確認、認知症の方の運転免許返納が必要。

・あくまでも本人の(表出しない潜在的なものを含む)意思に基づく生活への支援。「自立支援」は単に心身機能の改善ではない。自分がしたいと思うことを実現する。

・運転免許返納できない認知症を患っている方を担当しており、不安をいつも感じています。ケアマネや地域での支援を積極的に行われなければならないと思いました。

・実際の事例を通して、具体的な考え方や対応策について聴くことができ、今後の参考になると思った。不意に放った一言が相手の心を殺すというエピソードがとても心に残った。今までの自分を振り返り、今後を活かしていきたい。(いましめとして)

・ケアマネジャーの仕事は、AIには出来ない。利用者さんの思い、家族の思いを大事にして明日への仕事に繋げる。

・認知症の方の対応、看取りの考えが、視点が違うと、問題視点がとても良かったです。対人援助の姿勢や言葉などがサービスマナーの基本だと感じました。

・現場でのマナー研修は、ケアマネが先頭に立って行って欲しいということで、実践したいと思いました。

・マナー、ホスピタリティー→おざなりになっていた？反省。少し頭が高くなっていた。初心に立ち返ろう。介護支援専門員のプロとしてやるべきこと、もっと自覚して足を引っ張らないようにしましょう。法制度・改正に向けての世の中の流れを意識していこう。間違った情報、自分で確認せずにかじった話をうのみにしてケアマネ不要論に対して斜に構えて少し生意気に考えがちだったので、正しい情報を知るようにしましょう。

・人間尊重とは、人の尊重し、尊厳を守ること、相手に敬意を払って接することが大事。ケアマネジャーとして対人援助を行う専門職としてマナーを守る事。人に会い人と話し困っている事に対して真摯に向き合う。大事な役割を担っている意識を常に持つ事を実践したいです。

・地域包括ケアの「すまい」は自宅とは限らないことを改めて知った。運転免許について認知症の当事者への支援だけでなく、家族の支援についても支援していきたい。

・先生の介護に対する熱い気持ちが伝わりました。

### 3.研修の内容は、今後の業務に役立つと思いますか。(自由記述)

・排泄、食事から看取りまで幅広くふれ、気を付けるポイントについて説明しているところ

がわかりやすかったです。

・ケアマネの立ち位置と利用者さんへの関わりの中に人間尊重を振り返って業務に活かしたい。

・マナーについてもう一度見直す良い機会になった。ターミナルケアに対する心構えが少しできたように思う。

・「達人になる前に感じの良いケアマネ」を心掛けたいと思います。

・毎回ブログ楽しみにしています。

・サービスマナー 基本に戻ろうと考えさせられた。

・利用者の生活、現場をもっと知ることを大事にしたい。

・施設の職員にも報告してあげたいと思います。

・対人援助としての基本の確認が出来た。

・自律支援に向けて利用者ときちんと向き合っていく。

・やっぱりケアマネの業務は重く感じる。常に勉強ですね。介護の人材不足(CM不足も含め)今後の不安がありすぎてそれに対応できる自信なし。

・看取りになる前、家族や本人に最期の過ごし方を確認していく。

・利用者の方に対する姿勢、言葉遣い等、自分自身を振り返るきっかけともなった。

・研修を受けるたび新しい情報を耳にする。不安が高まるが、自分を信じていてもいいんだと思える内容だった。

・副業を予定しているので、この知識を活用していきます。

・自分の作るケアプランに責任を持つ

#### 4.今後、実施してほしい研修についてお聞かせください。(自由記述)。

・食事、排泄、等の場面に応じたマナー研修

・マナー研修

・事務、記録作業の負担軽減のコツ

・「認知症の人の排泄障害の状態と対応」のようにその方を見てアセスメントしプランニングを行った。しかし、家族の協力が受けれる家はとても少ない。住まいは自宅だけではないという選択肢。その方に合う「すまい」を探し入れるまでには何年も掛かるのが現実。その間のケアについて悩むことが多い。(家族のケアについてもご本人のケアについても)自宅で、その人の自立支援に向けての話し合う場を持っても実際、協力を得られないご家族の支援方法。それがいいと思っけていても働いてるしそこまで手がかけられない。家に他の来客者もいるのに目印をつけるなんて。などの理由。その方が介護も楽になるかもしれないという事を伝えても面倒だと思う人も多い。姑と嫁とかの関係でそこまでのという人も。

・ターミナルケアでの看取り介護

・社会資源の活用法